



第18回 肝付町総合文化祭

11月1日・2日の2日間、町文化センターにて「肝付町総合文化祭」が開催されました。

18回目となる今回は、町内から「舞台発表の部」に17の団体、「展示の部」に34の団体と、広域文化祭の実施に換えて、鹿屋市文化協会が参加くださいました。

舞台上では三味線演奏や日本舞踊、フラダンスなど多彩な演目が披露されました。また、町内園児らによる和太鼓演奏やお遊戯、合唱、リズム遊びなどもあり、会場を盛り上げました。

切り絵や写真、図画工作などの展示は隣接する体育館で行われ、多くの来場者が各団体の活動成果を興味深く観覧していました。





まちの話題

宇宙甲子園ロケット部門 2025 鹿児島大会 肝付町で初開催！



11月1日、内之浦総合グラウンドにて宇宙甲子園ロケット部門鹿児島大会が開催されました。

本大会は、鹿児島県では初めての開催であり、正面に内之浦宇宙空間観測所が眺める地に約200名の来場者が訪れました。

参加エントリーした8チームの中高生が、ウズラの卵を搭載した自作のモデルロケットを打ち上げ、卵の帰還と目標高度・目標対空時間との精度を競い合いました。

競技結果は、地元楠集中学校の「藍色空間（ブルースペース）」チームが見事1位に輝き、2月に福島県で行われる全国大会に出場することになりました。



順位	チーム名・学校名
1	藍色空間〔ブルースペース〕 (鹿児島県立楠集中学校)
2	どせいさん (鹿児島県立楠集中学校)
3	蒼天破天者〔スカイブレーカー〕 (鹿児島県立甲南高等学校)
特別賞	チーム IKEDA (学校法人池田学園 池田中学校)

第39回うちのうら銀河マラソン 開催

11月23日、秋の内之浦路を堪能する「第39回うちのうら銀河マラソン」が内之浦小学校をメイン会場として行われました。

開会式では、最高年齢参加者（93歳）の戸柱 つむぎさんが力強い選手宣誓を行った後、ロケット打ち上げながらのカウントダウンと共に、町内外から集まったランナーが次々とスタートし、1.2kmから10kmまでのコースで健脚を競いました。

今年は昨年よりも多い1,072名のランナーが、沿道からの声援を力に日頃の練習の成果を発揮し、内之浦地区を駆け抜けました。

また、会場では物産展や出店が並び、本町と「宇宙兄弟宣言」を行っている南種子町の方々から特産の安納芋がプレゼントされるなど抽選会も含め大いに賑わいました。



勤労感謝の日に寄せて あけぼのこども園・おおぞらこども園

11月17日、あけぼのこども園・おおぞらこども園の子どもたちが、勤労感謝の日に寄せて、プレゼントを持ってきました。

今年の干支「午」が真ん中にデザインされたかわいいカレンダーです。

子どもたちからプレゼントされたカレンダーは町コミュニティセンター・文化センター玄関に飾ってありますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。



ドキドキワクワク地引網漁体験 高山小学校 保護者の会・宮富小学校 きずなの会共催

11月30日、柏原海岸にて高山小学校 保護者の会と宮富小学校 きずなの会が共催で地引網漁体験を行いました。

当日は、養護老人ホーム国見園の利用者の方も参加して、日常の中で、なかなか体験できない事にチャレンジする事の大切さをテーマに、約90名の大人と子どもが力を合わせて網を引きました。

子どもたちは、寒さもお構いなしに元気いっぱいにロープを引っ張り、取れたばかりの新鮮な魚を興味津々な様子で眺めていました。



祝百寿

肝付町に住む百歳を迎える方々の長寿をお祝いするとともに、敬老の意を表し、11月下旬、お祝いをした方のご紹介をさせていただきます。

振興会	氏名
富山	上田 スミ

※敬称略・誕生日順

上田 スミさん

まちの話題

**村田 千和子さん
徳島県こまつしま短歌大会で「議長賞」を受賞！**

10月に開催された「第16回 こまつしま短歌大賞」において、肝付短歌会で活動されている村田 千和子さんが、全国から1,000通を超える応募の中で、見事、「議長賞」（高校生以上・一般の部 第三位相当）を獲得されました。

村田さんは、「実際に学んでいる手話を題材にして詠んだもので、受賞の知らせがあった時は、びっくりしました」と話されました。

**作品：手話学び ひらけし世界まばゆくて
沈黙のなか 息づく言葉**

選評：「ひらけし世界」「まばゆくて」という表現で、手話を学ぶ新たな視界が広がる感覚が良く出ており、静かなコミュニケーションの中に、光や生命を見出す視点が印象的です。

**波見地区 津波避難訓練**

11月5日、波見地区の浦町、波見下、轟、荒瀬振興会を対象に南海トラフ地震を想定した津波避難訓練を実施しました。

上記の4振興会は津波浸水想定区域に該当しており、今回の訓練ではJアラート（緊急地震速報）の放送を合図に避難行動を開始しました。一般参加者は55名と、多くの方にご参加いただきました。

また、訓練後は波野地区公民館で防災研修会が開催され、大隅肝属地区消防組合東部消防署より講話をしていただきました。今回の訓練を通じて、地域全体の防災意識の向上に繋がり、参加者は避難場所や避難経路を再確認することができました。

津房振興会 火災予防訓練

11月8日、津房振興会は、振興会の自主防災活動の一環で、火災発生時の初期消火訓練を行いました。当日は、大隅肝属地区消防組合内之浦分署にも協力をいただき、消火栓からのホースの接続や実際に放水するなどの訓練を実施しました。

振興会長の津房 進一さんは、「火災発生時の初期消火の重要性は、長年の消防団活動の中で身にしみて感じております。みなさま慣れないながらもホースの接続や放水するなどして、とても良い訓練になったと思います」と話されました。

**イノシシの広域一斉捕獲の実施**

内之浦・岸良・高山猟友会が合同で、近年増加傾向にある農作物の被害を減らすため、10月12日に岸良地区において、銃器を使用したイノシシの一斉捕獲を行いました。


**恒吉 智彦さん
全国町村監査委員協議会から功労者表彰**

10月16日、全国町村監査委員協議会から本町の監査委員である恒吉 智彦さんが町村等監査委員として7年以上在職し、多大な功績や貢献があった方として表彰されました。

恒吉 智彦監査委員：平成22年5月～平成26年4月
令和4年5月～現在（現在2期目）


本城集落センターの大銀杏

本城集落センター（旧本城小学校跡地）に立つ大銀杏が、12月初旬に紅葉の見頃を迎えました。

国見トンネル経由で内之浦方面へ向かう途中に、そびえ立つ大銀杏の存在感に目を惹かれ、車を停めてカメラで撮影する方が多くみられました。

樹齢は不明ですが、すぐ裏手には国指定文化財の高山城跡があることから、かつてこの地を治めた肝付氏と関係があるかもしれない、歴史ロマン溢れる大銀杏です。


**論地分団消防団後援会
境川堤防敷を清掃作業**

12月5日、論地分団消防団後援会による第一論地橋付近の堤防清掃作業が行われました。

当日は冬晴れの中、7名の有志の方が重機も使いながら草木を取り除いていくと、作業後には見事に整えられた堤防が続いていました。

論地地区は正月恒例の鬼火焚き（おねっこ）が付近で行われることもあり、年の瀬の準備となりました。